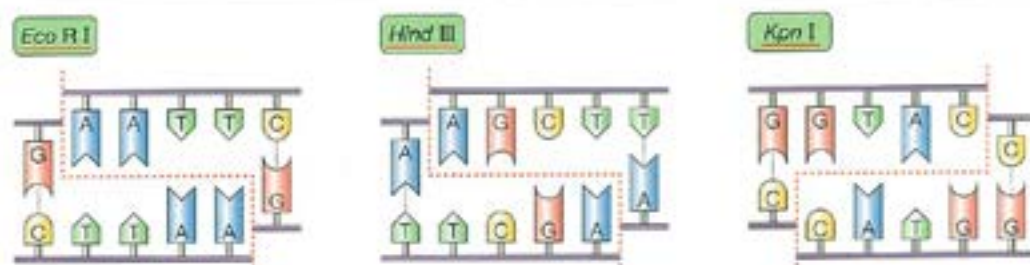
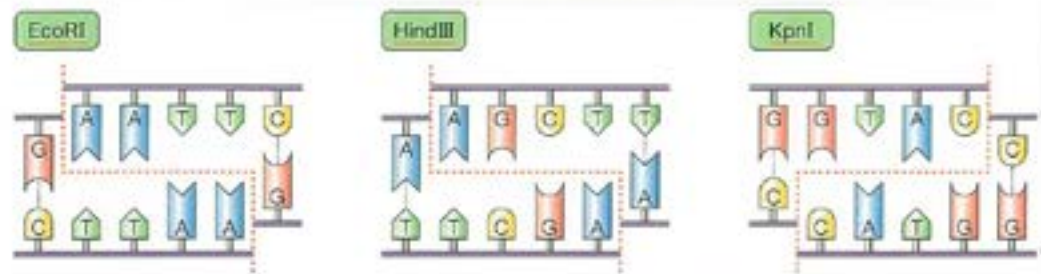


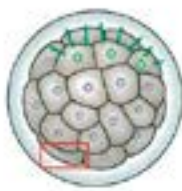
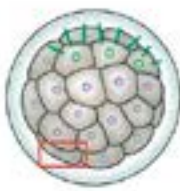
訂正箇所		原 文	訂 正 文
ページ	行		
25	図 12 (c)	<p>(c) 基質濃度 $[S]$ を変える—酵素濃度と温度が一定</p> <p>生成物の量</p> <p>時間</p> <p>$[S]=2a$</p> <p>$[S]=a$</p> <p>$[S]=\frac{1}{2}a$</p> <p>基質濃度が変わると、それに応じて最終的な生成物の量が変わる</p>	<p>(c) 基質濃度 $[S]$ を変える—酵素濃度と温度が一定</p> <p>生成物の量</p> <p>時間</p> <p>$[S]=2a$</p> <p>$[S]=a$</p> <p>$[S]=\frac{1}{2}a$</p> <p>基質濃度が変わると、それに応じて最終的な生成物の量が変わる</p>
100	17	<ul style="list-style-type: none"> 真核細胞では核で転写された mRNA がスプライシングされ、 	<ul style="list-style-type: none"> 真核細胞では核で転写された mRNA 前駆体がスプライシングされ、

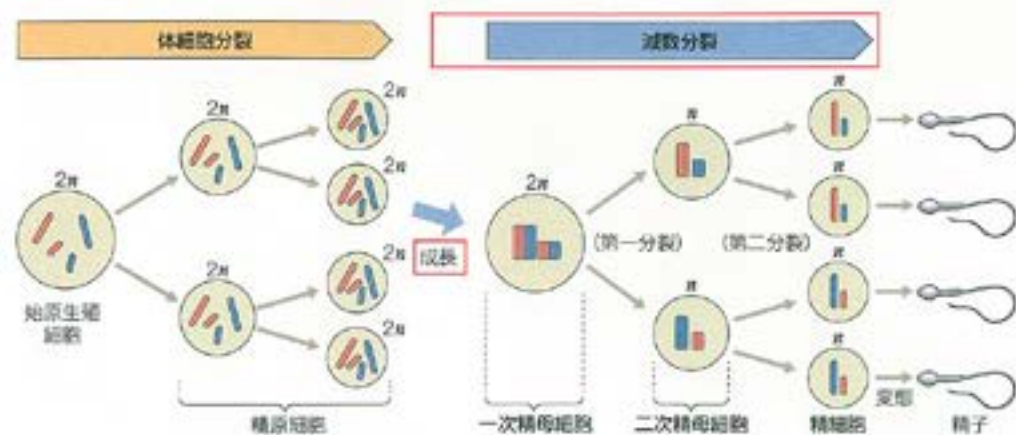


▲図1 制限酵素の例 *EcoRI*、*HindIII*、*KpnI*は、制限酵素の名称。制限酵素が認識する塩基配列は、回文配列になっている。

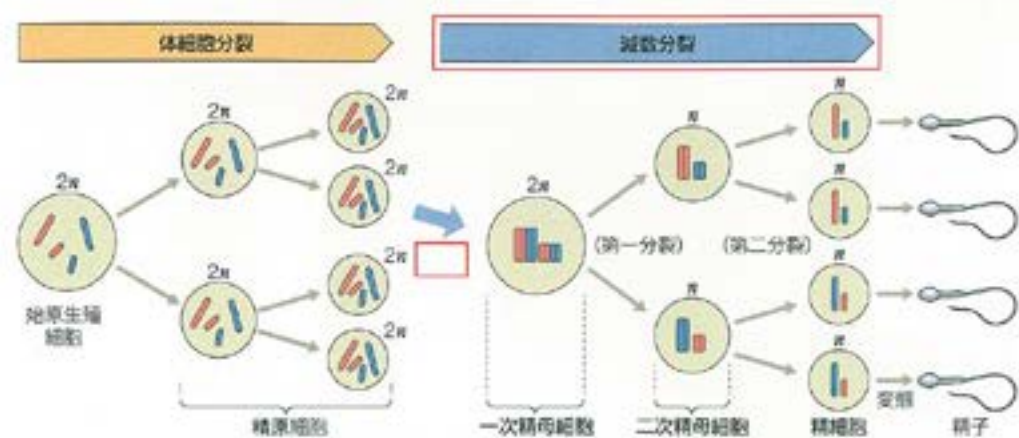


▲図1 制限酵素の例 EcoRI、HindIII、KpnIは、制限酵素の名称。制限酵素が認識する塩基配列は、図文配列になっている。

訂正箇所		原 文	訂 正 文
ページ	行		
132	5		
127	図 10 下		
154	9	<u>組換え価</u> = $\frac{\text{組換えの起こった配偶子数}}{\text{全配偶子数}} \times 100(\%)$	<u>組換え価(%)</u> = $\frac{\text{組換えの起こった配偶子数}}{\text{全配偶子数}} \times 100$
154	12	<u>組換え価</u> = $\frac{\text{組換えの起こった個体数}}{\text{検定交雑で生じた全個体数}} \times 100(\%)$	<u>組換え価(%)</u> = $\frac{\text{組換えの起こった個体数}}{\text{検定交雑で生じた全個体数}} \times 100$

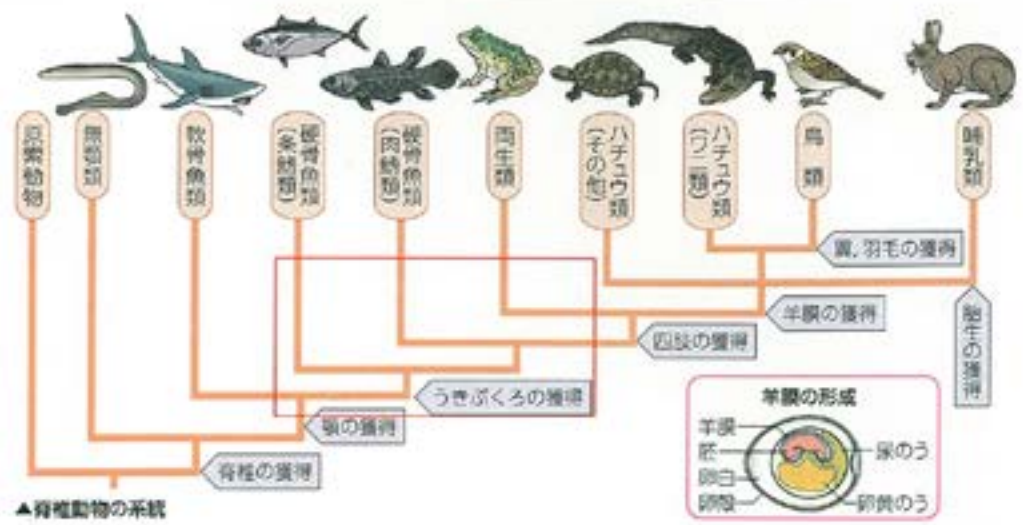


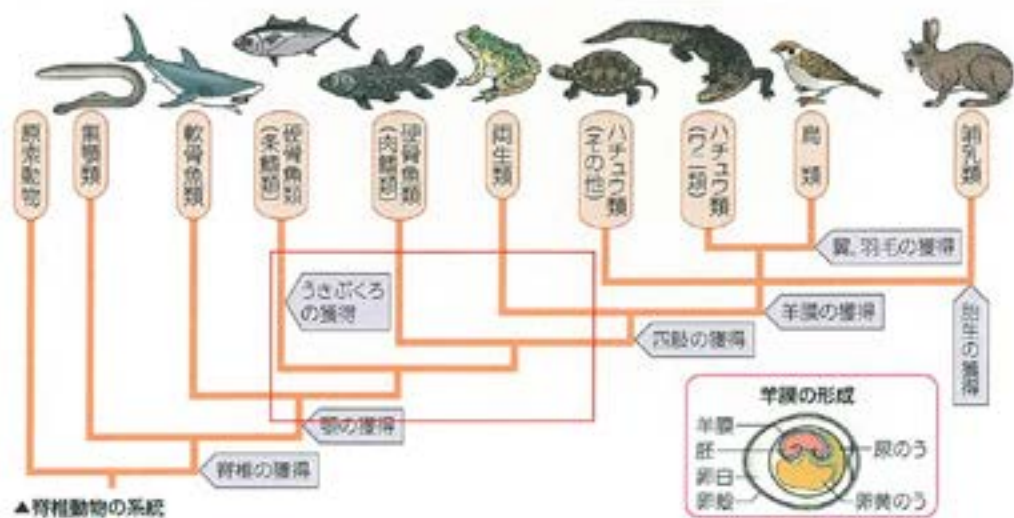
▲図1 精子形成 精細胞は、大部分の細胞質を失って形を変え精子になる。



▲図1 精子形成 精細胞は、大部分の細胞質を失って形を変え精子になる。

訂正箇所 ページ 行		原 文	訂 正 文
206	8	① <u>プレバート</u> にワセリンなどを薄く塗りつけ、	① <u>スライドガラス</u> にワセリンなどを薄く塗りつけ、
219	図6(b)		
314	21	高いときは低く <u>し</u> 、低いときは高く <u>する</u> という調節作用がはたらき、	高いときは低く <u>なり</u> 、低いときは高く <u>なる</u> という調節作用がはたらき、
366	16	河川や水路などでは、カダヤシが <u>メダカ</u> に置き換わるなどの	河川や水路などでは、カダヤシが <u>もともからいたメダカ</u> と置き換わるなどの





訂正箇所		原 文	訂 正 文
ページ	行		
222	図11	<p>▲図11 興奮の伝導とナトリウムチャンネル</p>	<p>▲図11 興奮の伝導とナトリウムチャンネル</p>
222	5	<p>いたりする。そのため、<u>1/1,000</u>～<u>20/1,000</u>秒の短い間であるが、別の刺</p>	<p>いたりする。そのため、<u>1/1,000</u>～<u>2/1,000</u>秒の短い間であるが、別の刺</p>